

千葉商大 同窓会 鳥取県支部報

2010年(平成22)年2月1日
第11号
千葉商大同窓会鳥取県支部
支部長 渡辺紀雄
事務局 千683-6803 米子市加茂町2-62
米子加茂町郵便局森尾邦夫気付
TEL 0859-33-5993



「挨拶と報告、 そしてお願いと」

支部長 渡辺 紀雄

千葉商科大同窓会鳥取県支部の
会員の皆様にはお健やかにござ
しの事とお慶び申し上げます。早
いもので支部長として二回目の挨
拶と報告を致します。第十一回鳥
取県支部総会を平成二十一年七月
五日(日) 東部地区のホープスタ
鳥取において開催致しました。本
来は中部地区の順番でありました
が地区担当の方との調整が取れ
ず東部地区での開催と致しました。
参加者は八名で初めての参加者も
あり通常議事の審議とともに活発
な情報交換もあり支部のさらなる
発展を期して終了いたしました。
十一月三日(火) 文化の日には商
大同窓会総会に支部長交替の挨拶
として出席致しました。久しぶり

に訪れた母校は私の卒業当時(昭
和四十六年)の面影はなく建物は
美事に建て替り、堂々の学府の姿
に感慨を新たに致しました。又、
当日は大学祭でもあり大変な賑わ
いの中、同窓会参加者も近年にな
く多く盛会であった事を報告致し
ておきます。最後になりましたが
支部長よりのお願ひがあります。
鳥取県支部は発足十二年となりま
す。年一回の総会を定期的に続け
る中で母校の発展と共に支部活動
を拡げていく事を夢みております。
どうぞ支部総会に多数出席いた。だ
き同窓を懐古し旧交をあたためな
がら楽しく賑やかなそして活力あ
る支部づくりに参加して下さい。
よろしくお願ひ致します。



千葉商科大学同窓会
第四十回定期総会会場
7号館702教室



大学院

大学4年間で身につけた能力をさらに磨き上げ、社会のニーズに応じた実践的な力に高めるため、3つの修士課程と、博士課程、専門職学位課程をそれぞれ開設。公認会計士、税理士、ファイナンシャル・プランナーなどの財務・会計のスペシャリスト、政策、経済学、商学の研究者や高等教育機関の教員などをめざすことができます。

鳥取県支部

平成21年度

定期総会開催

事務局

森尾邦夫 (S48 経営)

鳥取県支部第十一回定期総会を、七月五日に鳥取市のホープスターとつとりで開催しました。総会は二代目の渡辺支部長になつてから二回目で、当日は九名の参加で開催となりました。

昨年度の事業が中四国合同総会であつたので、その総括と、今年度の計画、決算と予算の報告等を協議しました。前支部長が亡くなられて支部活動が少し停滞気味であるとして、種々の活動案が出され、また会費納入者を増やす策等活発な協議ができたことは、今後の支部活動につながるものとしてよかつたと思います。

今後はより広く活動の輪を広げ、支部会員と母校の発展に寄与していくために努力していく所存です。



雑稿

事務局

岡本 茂 (S50 商)

平成二十年十月五日、第二回中国・四国七県支部定期総会が鳥取県にて開催されました。当支部設立十年と重なることもあり、原田嘉中理事長先生、高柳實同窓会長、サービス創造学部長 吉田優治先生が参加され、各支部長、会員様含め二五名の参加となりました。

挨拶の中で、吉田先生の発言が重い言葉として心に残りました。偏差値偏重の大学の現状について、それに抛らない大学作りに重点を置くことが重要であるとの考えに驚きました。今まで受験した生徒は、すべて合格としていた本学が、サービス創造学部の設立により初めて不合格者を出すことになることとです。又年間数百人が退学しているようです。

サービス創造学部の成功が、大きな力ギとなることであると。中国・四国七県支部定期総会のありかたについてですが、第三回の開催は、決定していません。存続の定義付が重要です。ただ単なる集まるだけであるとしたら遠方まで赴くことになるため、経費を

含め難しいのでは、と考えます。支部総会についても同様です。

参加者が頭打ちになり、中国・四国七県支部定期総会と同様に、意義付けが必要です。中部地区の活動がなくなりつつあります。当支部会員は殆どが現役です、生活を第一に考えることは当然であり、その中の支部活動には限界があります。

支部HPには、六社の、同窓生が経営している企業にリンクしています。更新が順次なされていない企業もあるようですが、同窓生どうしの活動に一役買つてほしいと思います。

秋田県同窓会が作成している、ページは凄いです。秋田瑞穂会が作成したHPです。掲示板を見ていただいたら判りますが、毎日のように書き込みがあります。そういえば去年、鳥取市で「日本の祭り」が行われました。「秋田竿灯」が参加され、太鼓と笛による演技は感動ものでした。地方柄かもしれませんが元氣です。

支部活動について真剣に考えて方向性を見出さないと、発展は難しいと考えます。HPの更新及び他支部とのやりとり、企業間同士の積極的交流、同窓生同士の関わり方等、同窓生各位の提案を切望します。

コルベツトに 想いをよせて

昭和五十九年卒業
足立秀憲

冬の寒さも一段落し、春の気配が夕闇迫る淀江の地にも感じられる。仕事を終えて車のキーを回すと、5・7リットルのエンジンが待ってましたとばかりに、独特の低音で爆音を奏でる。一日の中で最も充実を感じる一瞬である。一年前からこの土地で仕事しているのだが、二十五年以上自転車通勤をしてきた私にとって、初めてのマイカー通勤となったわけである。これを機に、車をスポーツカーに買い替えた。朝寝坊の私は、とにかく早く淀江の仕事場までたどり着く必要があるのだ。

この車は、私が大学生の頃、通学の際にいつも見ていた車である。当時、私は鳥取県人寮に住み、JR津田沼駅を利用していたが、その道すがらのある民家の駐車場に威風堂々と置いてあった車である。その車のラインの美しさに見惚れて以来、ずっと憧れていた車である。三十年近い年月を経て、購入した車は年式はやや新し目になつてしまったものの、やっとなつたわけである。

かなつたわけである。

このまつたく進化を遂げない私に対して、我が千葉商科大学は、めざましい進化を遂げている。(授業料もめざましい進化を遂げているが、当時、国立大学並みの授業料であつたと思う。その意味では、親孝行であつた。) 進化する千葉商科大学、特筆すべきは、政策情報学部、サービス創造学部といった新しい学部の創設、そして、その入試制度のユニークさではないだろうか。特別AO(アドミッションズオフィス)入学審査である。これは、本学を卒業した高校教員の勤務先学校生徒のうち、一定の条件を満たし、本学卒業教員の推薦を受けた者に対する入学審査制度であるが、受験生を持つ親の身としては、非常に心強い制度である。幸いにも、我が鳥取県支部にも高校の先生がいらつしやる。

あと数日で、うちの上の娘の高校入試の合格発表がある。この会報ができあがるころには、もう結果は出ている。合格発表の日、娘がどんな顔して帰って来るか心配である。結果はどちらでもよい。「合格したお前も好きだけど、不合格だったお前も好きだよ。」と、思いつきり抱きしめてやりたい。たぶん、そこまではしないと

が。まさに「親」という文字、立ち木に登りて我が子の帰りを待ちわびる、せつなき想いのこもりし一文字なるかな。



【事務局よりの連絡】

鳥取県支部、平成21年度会費をお願いしています。会費は3,000円です。同封の、郵便振替用紙にてお願いします。

又、郵便振替口座は、下記の通りです。

口座番号 01340-3-62952

加入者名 千葉商大鳥取県支部

または

銀行口座 鳥取銀行 米子駅前支店

普通預金 2421031

口座名 千葉商大鳥取県支部

千葉商科大学鳥取県支部 インターネットホームページの御案内

<http://www.geocities.jp/cuctottori/top.html>

内容がユニークです。

校歌が聴けるし、同窓生の企業紹介もあり、

支部報、総会資料、なんでもあります。

同窓会本部から注目されています。

是非ご覧下さい!!